

「事業構想プロジェクト研究」による人財づくりの取組みについて

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学が提供するプログラムを活用し、下記のとおり「事業構想プロジェクト研究」（以下、「プロジェクト研究」といいます。）を開講しましたのでお知らせいたします。

当行は2030年を展望する秋田銀行グループVISION「価値をつくる。未来へつなぐ。」を掲げ、将来にわたる豊かな地域の実現に向けて取り組んでいます。こうした取組みを実現していくためには、既存の枠組みにとらわれず、未来のありたい姿を描くことにより、地域課題の解決や新たな価値提供を推進していく人材が必要となります。

本プロジェクト研究は、当行の企業価値向上のために最も重要となる「人材の高度化」に向けて行うものであり、地域に新たな価値を提供できる人財づくりを推進し、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記

1 プロジェクト研究の概要

項目	内容
コンセプト	事業構想プロジェクト研究「あきぎん×未来をえがく」
背景	変化の激しい現代社会にあり、特に人口減少にともなう様々な課題が顕在化する秋田県においては、変化の中であらゆる機会を捉え、地域と当行の新たな可能性を見出し、将来へつなげていくことが重要であり、その実現のためには「未来を見据えた新しい事業を構想する力を有する人材」（＝事業構想人材）が求められる。
目的	多様な知識・能力を有し、事業構想ができる人材の育成
期間	2024年12月～2025年11月（全24回）
場所	秋田銀行 本店・事業構想大学院大学 仙台校
参加者	20～30代の当行職員10名

2 講義内容について

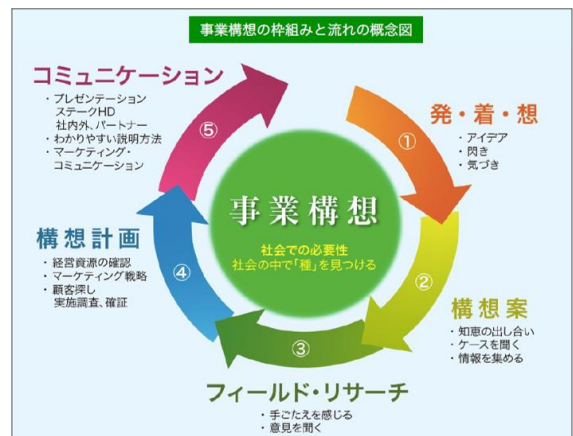
担当教員が1年を通じてコーディネートとファシリテーションを行い、受講生の知見を高めながら4つの段階に基づいて事業構想と構想計画の構築を推進していきます。

【第1クール】事業構想・アイデア開発

【第2クール】事業構想案策定

【第3クール】構想計画に必要な知識と実践

【第4クール】事業構想計画書策定



3 事業構想大学院大学について

事業構想大学院大学は、理想の姿を描き、実現可能な計画に落とし込む事業構想について、日本で唯一体系化したカリキュラムを保有する社会人向けの大学院であり、2012年4月に文部科学大臣の認可を得て開学しました。東京校をはじめ全国5か所に拠点をもち、これまでに700名を超える事業構想修士および3,000名超のプロジェクト研究員を輩出しています。多彩な講師陣がコーディネートする実践的な学びを通じて、事業構想人材の育成と、様々な新規事業およびイノベーション創出につながっています。

【開講式および第1回講義の様子】



研究員任命通知書の授与



事業構想研究所 所長 小端氏よりご挨拶



研究会の様子



担当教員である事業構想大学院大学
田中克徳 客員教授と研究生

(以 上)